

児童の安全 風車に願い、

エイジレス
ふくしま

本宮市の長尾良夫さん(84)は新入学児童の健やかな成長と交通安全を祈り、交通安全風車を作製している。毎年、同市や大玉村に風車を贈っており、寄贈した風車は2千個を超えた。「親子が風車を見たり遊んだりすることで、交通安全を考えるきっかけにしてほしい」と思いを寄せる。

親子に呼びかける

長尾さんは2019年まで、同市交通安全教育専門員を約40年間務め、児童や生徒の登校時の見守り活動に取り組んできた。高齢などを理由に同専門員を退くことを決めたが、交通安全の熱い思いは消えなかった。入学を機に初めて交通マナーに触れる新入学児童に注目し、親子で交通安全に親しむことができる方法を模索。後任の人選を進めながら、縁起物や遊び道具とし

元交通教育専門員

本宮の長尾さん



手作りの交通風車を手にする長尾さん。「風車作りは生きがいにもなっている。将来を担う子どもたちを守っていきたい」と語る

▲ 5月14日 福島民友新聞掲載

とまる・みる・まつ

て家庭で親しまれている風車で交通安全を呼びかけることを決めた。

専門員の活動の傍ら、風車作りを始めたのは17年ほど。自宅周辺の山林で風車に使う篠竹を刈り、菓子箱や乾電池の厚紙などを使って細かい飾りを作製。このほか「とまる・みる・まつ」などのメッセージをプリントに印刷し、風車の中央に添えている。「と

まる・みる・まつ」は専門員時代から児童に声かけしていた。大事な言葉だからこそ、子どもたちも分かるひらがなで伝えている」と風車に交通安全の思いを託す。

風車作りの合間に下校中の児童の見守り活動も続けている。長尾さんは「下校時間は専門員も仕事と重なって難しい。風車はもちろん、今の私だからできることがある。交通安全を通して地域に恩返ししていきたい」と笑顔を見せた。(斎藤優樹)

5W1Hを読み解こう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。(330字程度)

いつ
(When)

どこで
(Where)

だれが
(Who)

なにを
(What)

どのように
(How)

どのように風車
を作っている？

なぜ(Why)

なぜ風車を作る
ことに？

みなさんは歩いたり自転車に乗ったりするときに、どんなことに気を付けていますか？

